

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（８月）

令和 8 年 8 月 1 9 日
青森県三八農林水産事務所
農 業 普 及 振 興 室

I 土地利用型作物

1 水稻

（１）出穂状況

管内における出穂最盛期（50%進ちょく）は、平年より 2 日遅い 8 月 5 日で、ヤマセの影響を受けている八戸市、五戸町、階上町の出穂が遅く、同一市町村内であっても、田植えの早晚が出穂の早晚と一致している。

（２）刈取適期

まっしぐらの刈取適期到達の目安である出穂後の積算気温 960℃到達日は、平年並に気温が推移した場合、8 月 5 日出穂の地域で 9 月 19 日頃からと予想される（8 月 16 日現在、八戸アメダス）。

（３）今後の指導・対策等

ア 根の機能を低下させないことを主眼に水管理を徹底する。1 日湛水して 2 日落水、2 日湛水して 3 日落水する間断かんがい等を行う。

イ 早期落水は胴割米等の発生を助長し品質を低下させるため、落水は、乾田で出穂後 30～35 日、湿田で出穂後 20～25 日を目安とする。

ウ コンバイン、乾燥機等の保守・点検を行う。

エ 刈遅れによる品質低下を防ぐため、適期を迎えたら速やかに収穫する。

表 1 管内の出穂状況と刈取始期予想（8 月 16 日時点、八戸アメダス）

市町村名	出穂状況			出穂最盛期の 平年差	出穂最盛期の 刈取始め予想 （月日）
	始め （5%出穂）	最盛期 （50%出穂）	終わり （95%出穂）		
八戸市	7 月 31 日	8 月 6 日	8 月 14 日	遅 3 日	9 月 20 日
五戸町	7 月 31 日	8 月 6 日	8 月 14 日	遅 4 日	9 月 20 日
階上町	7 月 31 日	8 月 6 日	8 月 14 日	遅 3 日	9 月 20 日
新郷村	7 月 31 日	8 月 5 日	8 月 10 日	遅 2 日	9 月 19 日
三戸町	7 月 25 日	7 月 29 日	8 月 5 日	早 3 日	9 月 11 日
南部町	7 月 27 日	8 月 3 日	8 月 8 日	遅 1 日	9 月 16 日
田子町	7 月 26 日	8 月 4 日	8 月 7 日	±0	9 月 17 日

2 大豆

(1) 生育状況

は種日が平年に比べ、八戸市市川で 14 日遅く、五戸町倉石中市で 24 日遅かった。八戸市市川では、平年に比べ草丈は大幅に低く、葉数はやや少なかった。五戸町倉石中市では、平年に比べ草丈は大幅に低く、葉数は大幅に少なかった。病虫害では、べと病の発生が見られる。

表 2 大豆生育観測ほ生育状況（8 月 10 日現在）

調査地点	年次	播種日 (月日)	開花期 (月日)	草丈 (cm)	葉数 (葉)
八戸市 市川	本年	6 月 13 日	8 月 6 日	72.0	11.7
	平年※	5 月 30 日	7 月 30 日	93.6	12.1
五戸町 倉石中市	本年	7 月 4 日	－	56.4	6.7
	平年※	6 月 10 日	8 月 3 日	86.0	11.5

※平年値は平成 25 年～令和 7 年の平均値

(2) 今後の指導・対策等

べと病、アブラムシ類及び食葉性害虫などの病虫害は、発生状況を確認して適期防除に努める。マメシンクイガ及び紫斑病の防除は、1 回目が 8 月下旬頃、2 回目が 9 月上旬頃に行う。

3 小麦

生育観測ほでは、平年に比べ稈長は短く、穂長は長く、穂数は少なかった。雑草の発生、消雪後の凍上害の影響から、収量は 235kg/10a(平年比 53.2%)と平年を大きく下回った。

表 3 小麦生育観測ほ成熟期及び収量調査結果

調査 地点	年次	成熟期調査			収量調査
		稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	子実重 (kg/10a)
八戸市 市川	本年	66.5	9.5	329	235
	平年	77.0	8.2	441	442

※平年はH26年産からR7年産の平均値

Ⅱ 野菜

1 ながいも

(1) 生育状況

ア 生育観測ほでは、いも長は平年を下回っているものの、いも重はほぼ並である。病害の発生は特にみられなかった。害虫はナガイモコガの食害がみられる。

イ 普通栽培では、つるがネット頂に到達し、茎葉が繁茂している。病害は、一部ほ場で葉渋病が発生している。害虫は、ナガイモコガの食害が散見されるほか、一部のは場でハダニ類の食害がみられる。

表4 ながいも生育観測ほ生育状況（8月10日現在）

年 度	定 植 期						つるの ネット頂 到達日	7 月 10 日現在 (本年調査日:7月 10日)			8 月 10 日現在 (本年調査日:8月 10日)		
	植付 期 (月日)	種いも の種類	萌 芽			欠株 率 (%)		いも長 (cm)	いも重 (g)	いも径 (mm)	いも長 (cm)	いも重 (g)	いも径 (mm)
			始	期	揃い								
			(月日)	(月日)	(月日)								
本 年 (平年比)	5/8 遅1日	ガンク欠	6/15 遅7日	6/18 遅7日	6/20 遅7日	0	7/15 遅7日	15.0 94%	7.8 107%	7.9 101%	43.5 89%	219.6 97%	40.2 107%
平 年	5/7	ガンク欠	6/8	6/11	6/13	0	7/8	16.0	7.3	7.8	48.8	225.3	37.5
前 年	5/14	ガンク欠	6/18	6/20	6/23	0	7/10	14.3	6.6	9.1	43.3	218.3	39.0

※栽植様式：うね幅 120cm、株間 22cm (3,787 株/10a)

※種子の系統：庄司系、使用種子の種類・重さ：2 年子・120～150g

※平年値は平成 28 年 ～ 令和 7 年の平均値

(2) 今後の指導・対策等

ア 明きよの設置等、排水対策を徹底する。

イ 台風等の強風に備え、支柱の補強を徹底する。

ウ 追肥は遅くても8月20日に終わるようにする。

エ アブラムシ類、ナガイモコガ、炭疽病、葉渋病等の予防防除に努める。

2 にんにく

(1) 令和8年産の生育経過と作柄状況

ア りん片分化期は、平年より1～4日早かった。その後の気温が高めに推移したことから、収穫期は概ね平年並～5日早くなった。

イ 球径は平年比 91～108%、球重は 76～120%、収量は 79～111%となり、五戸は上回り、旧倉石・新郷・田子で下回った。

ウ A品率は、五戸、旧倉石、田子で平年に比べて高かった。新郷は平年より低かった。

- エ 主な落等要因は着色や割れ（裂皮）、りん片突出などであった。
- オ りん片分化期から収穫までの積算温度は、白玉王（五戸・田子）が 958～973℃、
在来種（旧倉石・新郷）が 983～994℃であった。

表 5 にんにく生育観測ほ収量調査結果

場所・ 植付日	年次	りん片 分化期	収穫日	球径 (mm)	球重 (g)	収量 (kg/10a)	等級割合(%)				備考
							A	B	C	外	
五戸町 桜沢 (R7.10.7)	本年	4月13日	6月18日	68.6	91.3	1,432	72	17	10	2	白玉王 グリーンマルチ 積算温度 958℃
	(平年比)	1日早い	2日早い	(108%)	(120%)	(111%)	+15	-13	+1	-2	
	平年	4月14日	6月20日	63.3	76.4	1,293	57	30	9	4	
	前年	4月18日	6月20日	62.9	77.4	1,290	51	31	14	4	
旧倉石 又重 (R7.10.7)	本年	4月12日	6月18日	54.1	49.6	778	72	10	13	5	在来種 グリーンマルチ 積算温度 994℃
	(平年比)	3日早い	平年並	(94%)	(84%)	(83%)	+21	-13	-9	+1	
	平年	4月15日	6月18日	57.6	59.0	937	51	23	22	4	
	前年	4月21日	6月19日	51.1	47.0	712	96	2	2	0	
新郷村 扇ノ沢 (R7.10.4)	本年	4月13日	6月18日	61.2	69.7	1,025	34	20	22	24	在来種 グリーン(無穴) 積算温度 983℃
	(平年比)	4日早い	1日早い	(101%)	(101%)	(94%)	-8	-21	+8	+22	
	平年	4月17日	6月19日	60.8	68.7	1,091	42	41	14	2	
	前年	4月21日	6月20日	63.3	80.5	1,299	32	53	15	0	
田子町 日ノ沢 (R7.10.5)	本年	4月12日	6月17日	55.4	53.2	921	66	28	5	1	白玉王 黒マルチ 積算温度 973℃
	(平年比)	4日早い	5日早い	(91%)	(76%)	(79%)	+22	-5	-8	-9	
	平年	4月16日	6月22日	61.0	69.7	1,166	44	33	13	10	
	前年	4月21日	6月23日	60.1	70.9	1,182	22	52	26	0	

注) 平年値について

五戸はR 7、旧倉石はR 8 から調査地点変更

五 戸：H28 年～R 7 年までの過去 10 年間の平均値（参考値）

旧倉石：H28 年～R 7 年までの過去 10 年間の平均値

新 郷：H28 年～R 7 年までの過去 10 年間の平均値

田 子：H28 年～R 7 年までの過去 9 年間の平均値（黒マルチのR2 を除くグリーン
マルチでの平均）

(2) 今後の指導・対策等

- ア 種子増殖「専用ほ場」を設置し、優良種子を購入して計画的に増殖する。
- イ 種子は病害虫による汚染を防止するため、販売用と隔離して保管する。
- ウ 土壌診断結果に基づく適正施肥を行う。
- エ 9 月下旬から 10 月上旬までの適期に深さ 7 ～10cm 程度に植え付ける。

3 トマト

(1) 生育状況

- ア 生育観測ほでは、梅雨期間中曇天の日が多かった影響で生育がやや鈍化しており、8 月 10 日現在で 9 段目が開花中となっている。現在 4 ～5 段目を収穫中であるが、裂果の発生がみられる。6 月中旬以降の高温・乾燥の影響で 6 ～7 段花房で落花が発生し、着果数が減少した。
- イ 病害虫は、すすかび病や灰色かび病の発生がみられる。

ウ 一般ほ場では、生育は概ね順調であるものの、日照不足の影響で着色が進まず、8月上旬までの出荷量が少なくなった。生育観測ほと同様に、落花や裂果の発生が散見されている。

エ 病害では灰色かび病やすすかび病、虫害ではタバコガ類やアザミウマ類、トマトキバガの発生がみられている。

表6 トマト生育観測ほ生育状況（8月10日現在）

年 度	定 植 時			着 果 状 況							
	品 種 名	定植期 (月日)	育 苗 ・ 活 着 状 況	1 段花房		5 段花房		7 段花房		9 段花房	
				開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)
本 年 (平年比)	りんか409 (自根)	5/9 2日早	良好	5/26 0日	4.3 102%	6/30 2日早	2.9 116%	7/17 4日早	0.3 11%	《調査中》 —	《未定》 —
平 年	りんか409	5/11		5/26	4.2	7/2	2.5	7/21	2.7	8/8	1.9
前 年	りんか409	5/12	良好	5/29	3.8	6/27	2.6	7/15	2.4	7/30	1.9

※栽植様式：畦幅 210cm、株間 40cm、条間 70cm、栽植株数 1,960 株／10a、
黒マルチ栽培

※平年値はH28～R 7年の平均値

(2) 今後の指導・対策等

ア 気象条件に応じたかん水・追肥を行う。

イ 晴天日が続く場合は遮光資材でハウスを覆う。

ウ 病害は、すすかび病・葉かび病や灰色かび病の防除を中心に、予防散布を徹底する。

エ 虫害は、タバコガ類の防除を中心に、早期発見、早期防除に努める。トマトキバガ発生ほ場では、定期的な薬剤散布で発生密度の低減に努める。